

広報

みぶ

2014

11

No.666

主な内容

第28回壬生町健康ふくしまつり2~3

第27回公民館まつり8~9

秋色爽快!

第28回壬生町 健康ふくしまつり



バルーンリリース 飛んでけー！

10月26日に町保健福祉センターとシルバークプラザにおいて、昨年を上回る58の団体の協力のもと、「第28回壬生町健康ふくしまつり」を開催しました。当日は幸いにも絶好のまつり日和に恵まれ、約5,000人の来場者で賑わいました。

見よい菌のコンクール及び親と子のよい菌のコンクール入賞者」「町民活動支援センター」「愛称 入賞者」「高額寄付者」へ表彰状や感謝状が贈られ、受賞者を讃えました。また「子育て支援センター☆ひよこ☆」の子供たちと、来場した子供たちによるエコ風船リリースが行われ、色とりどりの風船が、セレモニーの最後を飾りました。

その後ステージは、子供たちのダンス、腹話術、ヒーローショー、ミニコンサート、田仁太鼓の勇壮な演奏などで盛り上がりました。センター

1階のホールでは、町医師会が「生活習慣病と認知症」をテーマに講演会を行い、今年も多くの方が集まりました。骨密度測定も希望者でいっぱいとなり、歯科医師会相談コーナーや食生活改善推進員の「食事バランスガイド」コーナーも多くの人で賑わいました。

2階では、「こどもの身体測定」や子育て支援センターによる「缶バッチづくり」、学校栄養士会による「めざせ！食事マナーマスター!!」などが人気となりました。



人気者が大集合

屋外会場も多くの人出があり、各模擬店も多くのお客様が集まり、体験コーナーでは多くの方が車いす、手話、点字などを体験しました。また、屋外アトラクションは、子供たちの列が途切れませんでした。

今回の健康ふくしまつりの運営にも、中学生ボランティアが参加してくれました。参加人数も年々増えて今年は21人の中学生たちが、会場案内や各種催しの受付、会場の清掃、「ミーナちゃん」「チツちゃん」に扮しての子供たちとの交流にと大活躍し、来場者からも好評でした。

壬生町長表彰

(敬称略)

◎保健福祉功労者表彰

◎保健功労者

◎母子保健衛生部門

大場 フサ子 小林 俊子
にれぎ まりこ
榎木 眞里子

◎清掃事業・廃棄物部門

安塚中央コスモス会

◎福祉功労者

◎障がい者援護功労者部門

松本 榮四郎

◎老人クラブ育成功労者部門

篠原 昌史

◎ボランティア功労者部門

美水会

川井 桂子

◎感謝状

◎個人部門 早乙女 昇

◎3歳児よい歯のコンクール

入賞者表彰

◎最優秀

◎優秀

◎優良

吉葉 琉真
福田 芽衣
安藤 千紘
石川 優月
上田 隼也

◎親と子のよい歯のコンクール

入賞者表彰

◎最優秀

◎優秀

塚原 智子・結愛
渡邊 恵理香・結仁

壬生町民活動センター ”愛称”受賞者表彰 (敬称略)

◎最優秀賞

◎優秀賞

古賀 興子
三部 雅彦
荻原 二三雄

壬生町社会福祉協議会 会長表彰 (敬称略)

◎社会福祉協議会高額寄付者 表彰

◎15万円以上の寄付者

いきいき千雷クラブ

栃木県歌謡協会下都賀支部

ふれあいカラオケ教室

壬生町文化協会

壬生町文化協会歌謡部

四つ葉のクローバーカラオケ会

◎15万円相当以上の物品寄付者

(株)和光

全国本田労働組合連合会

ショーワ労働組合栃木支部

楽しい催しがいっぱい!



「かんぴょう大使」サトウヒロコさん



共同募金お願いします!



学校栄養士の食事マナー教室



表彰式の様子



勇壮なる円仁太鼓



保育園児の「かんぴょうダンス」



医師会講演会「生活習慣病と認知症」



町民活動支援センター「親子の体験教室」



ミーナちゃん大好き!

第8回

壬生町

安全 安心 町民大会開催



10月4日、犯罪や交通事故のない、明るく豊かに暮らせる安全で安心なまちづくりを目指して、壬生町・壬生町交通安全協会（田中作蔵^{さくぞう}会長）・壬生町防犯組合連絡協議会（森島淳^{もりしまじゅん}会長）主催による「第8回壬生町安全・安心町民大会」が壬生町中央公民館において開催されました。

今年8月末の栃木県内の交通事故発生件数は、4,178件と昨年に比べ730件減少し、身近な犯罪発生状況も、5,140件と昨年度に比べ、1290件減少しました。

当町の8月末現在の交通事故においては、発生件数は15件減の69件、負傷者数は19名減の78名と、共に減少いたしました。しかし、残念ながら交通事故で2名の尊い命を失っております。

また、当町で発生している8月末現在の身近な犯罪件数は、107件と去年に比べ5件増加、特に自動車や自転車の盗難が多く発生しています。

このような中、この大会



を契機に安全で安心な地域社会づくりの意識を高め、犯罪や交通事故の抑止に努めるとともに、町民一人ひとりが人命尊重を理念とし、明るく住み良い豊かな町づくりを推進するため、この大会が開催されました。

大会では、交通安全功労者や交通・防犯ポスター及び交通安全作文・安全マップ入選者の表彰が行われた外、藤井小学校3年・寺内空来^{そら}さん、壬生東小学校4年・湯澤建太^{たけふた}さんの2名が交通安全作文の最優秀受賞者として、作文の朗読をしました。また、みふ吹奏楽団が「恋するフォーチュ



ンクッキー」などを演奏し、盛大な拍手を受けました。

この他にも、中ホールではポスターや作文の展示が行われ、防犯組合役員による防犯クイズ・ぬりえや、交通安全母の会によるバルーンアート、県くらし安全安心課職員による自転車シミュレーター体験コーナーが設けられ、大変好評でした。



○最優秀賞
篠原 冬樹 (藤井小1年)
南條 千夏 (壬生東小2年)
田中 心優 (安塚小3年)
古郡 優衣 (壬生小4年)
早乙女 百香 (壬生小6年)
大橋 麻生 (壬生中1年)
竹越 天 (壬生中3年)

交通安全ポスター入選者 (敬称略)

山井 一男

感謝状受賞者 (敬称略)

阿久津 洋子 (石島 巽)
海老沼 征子 (栗橋 和江)
清水 時司
山川 三枝子

交通安全功労者表彰受賞者 (敬称略)



○最優秀賞
相澤 佑哉 (稲葉小1年)

防犯ポスター入選者 (敬称略)



○優秀賞
稲葉 陽咲 (壬生小1年)
寺崎 冬真 (壬生東小1年)
梁島 愛菜 (稲葉小2年)
柏倉 みのり (安塚小2年)
高野 梨愛 (壬生東小3年)
白井 誠佳 (壬生北小3年)
岸 文菜 (壬生小4年)
河野 楓果 (安塚小4年)
植嶋 有井 (壬生東小5年)
猿山 美羽 (壬生小6年)
石川 珠希 (藤井小6年)
東川 明加 (壬生中1年)
坂田 智 (南大飼中1年)
花田 彩香 (南大飼中2年)
田中 希哉 (南大飼中2年)
竹澤 香恋 (壬生中3年)
坂本 莉央奈 (南大飼中3年)

○最優秀賞
寺内 空来 (藤井小3年)
湯澤 建太 (壬生東小4年)
大谷 真優 (壬生中3年)
荒川 亮 (壬生小3年)
大場 誠也 (稲葉小3年)
田邊 藍 (稲葉小5年)

交通安全作文入選者 (敬称略)

○優秀賞
山川 麗華 (マシエリ 藤井小1年)
藪内 睦美 (安塚小1年)
鈴木 美音 (壬生北小2年)
森田 結衣 (壬生北小2年)
相澤 祐来 (稲葉小3年)
野口 和紗 (睦小3年)
足助 颯太 (稲葉小4年)
中村 紗彩 (壬生北小4年)
清水 愛心 (壬生小5年)
須藤 真央 (藤井小5年)
小林 千草 (壬生東小6年)
塚田 莉子 (安塚小6年)
田崎 遥 (南大飼中1年)
人見 紗生 (壬生中3年)



○最優秀賞
関 美南 (睦小1年)
○優秀賞
高木 成実 (壬生小1年)
大山 羽美 (睦小1年)
小林 幸生 (南大飼中3年)

安全マップ入選者 (敬称略)

小川 瑠斗 (睦小6年)
大橋 駿平 (壬生中1年)
小林 薫 (南大飼中1年)

壬生町消防団通常点検

が行われました

壬生町消防団（関本和夫団長 以下203名）による壬生町消防団通常点検が10月12日に実施されました。

東雲公園多目的広場において、消防関係殉職者に対し黙祷を捧げた後、多数の御来賓臨席のもと、人員並びに服装点検、機械器具点検が行われました。点検の後、小菅一弥町長より講評が行なわれ、続いて、多年にわたり勤続した団員や、退団者、消防業務協力者などの表彰が行われました。

その後、会場を黒川河川敷に移し、（財自治総合センターのコミュニティ助成事業（自主防災育成）による宝くじの普及広報事業の助成を受けて整備された消防用ホースや防火衣を使用した放水点検が実施されました。

続いて、蘭学通りにおいて、多くの人が見守る中、消防団本部役員、消防団員、消防団車両、石橋地区消防組合消防車両等による分列行進が行われました。

みぶ吹奏楽団の演奏と、メリーランド保育園、すけが保育園の園児達の行進で、分列行進がより盛大に行われました。また、分列行進後には役場駐車場において、消防車両の展示や、放水体験、はしご車の乗車体験ができる消防フェアが行なわれ、たくさんの家族連れでにぎわいました。



平成26年度通常点検表彰者名簿（敬称略）

模範消防団員知事表彰

◎知事表彰

第二分団 分団長 鈴木 宏幸

栃木県消防協会会長表彰

◎功績章

副団長 河野 喜信

◎勤続章15年

副団長 河野 喜信

◎勤続章10年

第一分団 第一分団 橋本 康成

第一分団 第二分団 石川 朋彦

第一分団 第三分団 植竹 弘人

栃木県消防協会下都賀支部長表彰

◎功績章（8年）

第一分団 第二分団 黒川 裕正

第一分団 第四分団 須藤 孝幸

第三分団 第一分団 黒澤 勇矢

第三分団 第四分団 渡邊 徹

第三分団 第五分団 山田 武志

◎勤続章5年

第一分団 第一分団 赤羽 根正久

第一分団 第二分団 千葉 泰裕

第一分団 第三分団 阿美 智篤

第一分団 第四分団 大関 哲夫

第一分団 第五分団 葛西 和行

第一分団 第六分団 布施 利之

第一分団 第七分団 明石 晃一

第二分団 第一分団 戸崎 浩司

第二分団 第二分団 石嶋 一則

第二分団 第三分団 神永 哲也

第二分団 第四分団 遠山 幹洋

◎勤続章（5年）

第二分団 第一分団 伊藤 邦孔

第二分団 第二分団 横倉 教容

第二分団 第三分団 落合 章利

第二分団 第四分団 篠原 宏明

第二分団 第五分団 別井 弘和

第二分団 第六分団 落合 政夫

第二分団 第七分団 百目 孝之

第二分団 第八分団 館野 正一

第二分団 第九分団 梁島 憲一

第二分団 第十分団 中村 学

第二分団 第十一分団 鈴木 克昭

第二分団 第十二分団 早乙女 大輔

第二分団 第十三分団 渡辺 翼

第二分団 第十四分団 渡辺 俊彦

第二分団 第十五分団 糸川 敏克

第二分団 第十六分団 細井 国裕

第二分団 第十七分団 白井 洋人

第二分団 第十八分団 清水 昌幸

第二分団 第十九分団 篠原 巧

第二分団 第二十分分団 杉崎 篤史

石橋地区消防団連絡協議会長表彰

ポンプ車 第三分団 第五分団

可搬車 第二分団 第五分団

壬生町長表彰

◎勤続章10年

栃木県消防協会会長表彰と同じ

◎勤続章5年

栃木県消防協会下都賀支部長表彰と同じ

◎優良部

ポンプ車 第三分団 第五分団

可搬車 第二分団 第五分団

◎努力部

ポンプ車 第三分団 第一部

可搬車 第一分団 第五部

◎纏賞 第一分団 第一部

壬生町長感謝状

◎平成25年度退団者

中島 純 他35名

◎消火協力者

館野 欣一

◎消防団特別協力者

大畑 静江

◎消防団特別協力者

杉山 文雄

◎内助の功

橋本 宏美 令夫人

石川 史子 令夫人

植竹 英美 令夫人

壬生町消防団新活動服デザイン選考

◎優秀賞

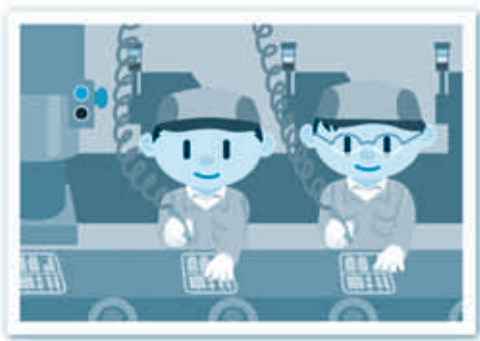
壬生中学校2年 細井裕貴奈

南大飼中学校3年 坂本莉央奈

壬生中学校1年 坂田真菜



平成26年工業統計調査を実施します



12月31日 調査日

経済産業省・栃木県・壬生町

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/>

◆調査の目的

この調査は、我が国の工業の実態を明らかにし、産業政策・中小企業政策など、国や地方公共団体の行政施策のための基礎資料とすることを目的としています。

◆調査の期日

平成26年12月31日現在で実施します。

◆調査の対象

日本標準産業分類に掲げる「大分類E－製造業」に属する事業所が対象です。調査をお願いする事業所には、12月中旬から調査員がお伺いしますので、ご回答をお願いします。

◆調査事項

従業者数、現金給与総額、製造品出荷額、原材料使用額などを記入していただきます。

◆この調査は報告の義務があります

「統計法」では、基幹統計調査を受ける人には報告の義務を、また、調査を実施する関係者には調査によって知ったことを他に漏らしてはならない義務を規定しています。さらに、これに違反したときには罰則が定められています。



問い合わせ先

壬生町役場商工観光課統計係

☎81-1846

町民活動支援センターの“愛称”が「みぶりん」に決定

4月に各種ボランティア等社会貢献活動推進の拠点としてオープンした「壬生町町民活動支援センター」を、さらに多くの方々に親しんでいただくため、“愛称”の募集をした結果、全国各地から216点もの応募がありました。

その中から、厳正な審査の結果、古賀 興子 様(壬生町在住)の「みぶりん」が最優秀賞を受賞され、今後、センターの愛称として広く使用されることになりました。

なお、受賞された方々は右記のとおりです。



右から、古賀様(最優秀賞)、三部様(優秀賞)、荻原様(優秀賞)

受賞名	作品名	受賞者
最優秀賞	「みぶりん」	こ が おきこ 古賀興子 様 (壬生町在住)
優 秀 賞	「みぶぼ〜と」	さん べ まさひろ 三部雅彦 様 (神奈川県海老名市在住)
	「ミーボ」	おぎわら ふ み お 荻原二三雄 様 (壬生町在住)

ご家族おそろいでお出かけください。入場無料 !!

12/20日土・21日日

時間：9:00～16:00

会場：壬生中央公民館

中会議室

■お茶席

…21(日) 10:00～14:00

お気軽にご利用ください。1席200円
(茶道教室)



ロビー

■第25回 壬生町消費生活展 …20(土)・21(日) 9:00～16:00

(壬生町消費者友の会)

テーマ 地球環境はあなたとわたしの
足元から

- パネル展示
- 安全な食品について
- 振り込まないで! (振り込め詐欺啓発)

実習コーナー ブローチ作り
(紙利用)



■手作りクッキー シフォンケーキ販売コーナー

…21(日) 10:00～14:00

(パン教室クロワッサン) ※なくなり次第終了

正面玄関



◆鉢物・苗販売コーナー

…20(土)・21(日) 9:00～16:00
(ガールスカウト)

◆うどん・そば販売コーナー

…21(日) 10:00～14:00
(青少年クラブ) ※なくなり次第終了

※ 販売した益金の一部を社会福祉協議会へ寄付させていただきます。

歴史民俗資料館では公民館まつりと併せて、
〈壬生はにわ会作品展〉を12/18(木)～21(日)開催いたします。

生活に潤いと楽しさを与える

第27回

公民館まつり

大ホール

■ステージ部門発表会

…21(日) 9:00~16:00

いきいき元気体操・民舞・太極拳・コーラス・オカリナ・
フラダンス・大正琴・ヨガ・日舞・吟剣詩舞・健康ダンス・
フォークダンス・バレエ・吹奏楽・下馬木五段ばやし(有形文化財)



※進行具合によりタイムスケジュールに変更が出る場合があります。予めご了承ください。

中ホール

■作品展

(実演・体験コーナーもあります)

…20(土)・21(日) 9:00~16:00

ちぎり絵・写真・水墨画・生花・編物・絵画・
竹工画・ステンドグラス・書道・絵手紙・
着物リサイクル・エコクラフト・ビーズアクセサリ
ブリザーブドフラワー・仏像彫刻・つるし飾り
サイクリングクラブ



主催：公民館まつり実行委員会

●問合せ先 壬生中央公民館 ☎82-0108 稲葉地区公民館 ☎82-7374 南犬飼地区公民館 ☎86-0031

あなたの税が未来を拓く

市町村税徴収強化月間2014冬

県下一斉の取組

納税の公平と税収の確保を図るため、11～12月を「市町村税徴収強化月間2014冬」として、栃木県との協働により、県下一斉に徴収の強化に取り組めます。

納期内に納付を

町が提供する、福祉や教育をはじめ様々なサービスは、町税が主な財源の一つです。町税の滞納は、町の財政を圧迫し、町民サービスに支障をきたすことになりかねません。そして何より、納期内に税金をきちんと納めている大多数の皆さんとの公平性を欠くことになります。また、督促状の送付などの経費に余分な税金を使うことにもなります。そのため、町では、収入や財産がありながら町税を納付しようとしないう滞納者に対しての滞納処分（差押え等）を強化しています。

差押を強化

税金を納期限までに納めなかった方には、まず督促状が送付されます。この督促状が発送された日から起算して10日を経過した日までにその税金を完納しなかったときには、町は滞納者の財産（預貯金、生命保険、不動産、給料、自動車、動産〔電化製品や美術品、貴金属等〕）を差し押さえなければならないことが法律で定められています。

財産調査には、滞納者の自宅などの搜索があります。搜索時に発見された財産は、差し押さえされます。「搜索」とは、税を徴収する職員に認められた権限で、裁判所の令状は不要です。

また、自動車のタイヤロック（写真）を行う場合もあります。タイヤロックとは、差し押さえた自動車を運行、使用させないための措置（国税徴収法第71条）で運行不能状態にするものです。



事情がある場合は相談を

病気や失業、事業の廃止、災害にあったなど、やむを得ない理由で一時的に税金を納期内に納めることが困難な方は、納期内に町税務課収税係まで連絡してください。生活状況等をお聞きしたうえで、徴収の猶予などをすることができます。事情により納付が困難な場合は、そのまま放置せず、まずは連絡してください。

納税・滞納処分Q & A こんな話をよく聞きます

Q1 借金があるから税金が払えません

答 法律によって、税金は全ての債務（借金含む）に優先すると定めてあります。個人債務より税金が優先されます。（地方税法第14条）

Q2 いきなり差し押さえされた、あんまりではないか

答 税は納期内納付が大原則です。督促状発送日から10日を経過した日までに完納しない時は「差し押さえをしなければならない」と明示してあります。（国税徴収法第47条）

Q3 個人の財産を勝手に調べて差し押さえされた、プライバシーの侵害ではないか

答 税金を滞納すると、国税徴収法・地方税法に基づき財産すべてに対する調査権限が発生します。この権限により調査を受けた金融機関等の関係機関は、協力しなければなりません。また、財産の調査は、個人情報保護法に一切抵触しません。

Q4 差し押さえる前に自宅訪問はしないの？

答 差し押さえ等をするにあたり、自宅訪問して納税を催告する行政サービスは原則として行いません。差し押さえ等が行われるまでには、必ず事前に督促状などの通知が送付されています。

Q5 小額滞納でも差し押さえはするの？

答 金額の大小に関わらず差し押さえ等を行います。「小額の滞納だから差し押さえられないはず…」といった考えはお止めください。

問合せ先 町税務課 収税係 ☎81-1816

用水路の生き物調査を実施

9月27日に羽生田地区の「夢・はにしの里協議会（杉山恵一会長）」、10月19日に下稲葉地区の「下稲葉・水と緑を守る会（中村正会長）」による生き物調査が行われました。

子どもたちは長靴を履き、網を持って水路に入ると、魚の捕まえ方の指導を受けながら水中の生き物をたくさん採取しました。その後、アドバイザー（羽生田地区：柳澤祥子氏、下稲葉地区：石川孝典氏、二瓶義彦氏）から捕獲した生き物についての説明を受け、調査の結果や感想を発表しました。

羽生田地区では、カワムツ・オイカワ・ホトケドジョウ・スナヤツメ・ヤゴなどが、下稲葉地区ではオイカワ・モツゴ・ムギツク・フナ・タモロコ・ジュズカケハゼなどが観察でき、地域の自然に対する関心が深まる有意義なものとなりました。

（写真説明 上：羽生田地区 下：下稲葉地区）



土砂等の埋立てには許可が必要です

土砂等の埋立て、盛土を行う場合、また、他の場所への搬出を行う目的で土砂等のたい積を行う場合は、土砂等に汚染がないことを確認するため許可申請をする必要がありますので、町民生部生活環境課までお問い合わせください。

○許可が必要となる場合は

事業者等が、土砂等による土地の埋立て、盛土を行う面積が500㎡以上3,000㎡未満の場合、また、他の場所への搬出を目的として土砂等のたい積を行う場合は、町への許可申請が必要になります。

- 土砂等とは、土砂及びこれに混入し、または付着したものを言います。
- 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で定められた汚泥は、土砂等には分類されません。
- 製品の製造または加工のための原材料のたい積は除外されます。
- 埋立て、盛土を行う面積が3,000㎡以上は県の条例の適用を受けますので、小山環境管理事務所（TEL0285-22-4309）に確認してください。

○他法令の許可等が必要な場合があります。

- 事業を実施する土地が農地の場合は、壬生町農業委員会で農地転用の手続きが必要です。
- 事業を実施する土地が山林の場合は、壬生町経

済部農政課で手続きの確認をしてください。

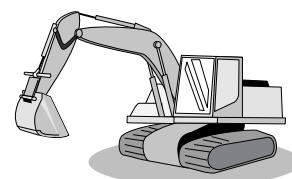
- 事業を実施する土地の埋蔵文化財の有無については、壬生町教育委員会で確認をしてください。

○土砂を搬入するときは届出が必要です。

事業者等が、許可後、土砂等を搬入するときは、土砂の採取場所ごと、かつ5,000㎡ごとに、「土砂等発生元証明書」及び「地質分析結果証明書（計量証明書）」を添付して「土砂等搬入届」を町に提出し、搬入する土砂等が汚染されていないものであることを証明する必要があります。

○完了したときは届出と検査が必要です。

事業者等は、土砂等の搬入終了後、町に「完了届」を提出し、水質検査及び地質検査を実施して、土壌汚染がないことを確認する必要があります。



問い合わせ先

町民生部生活環境課環境保全係 ☎81-1834

第3回壬生町 オープンジュニアテニス大会結果

10月13日
町総合運動場テニスコート
参加者35名

小学校4年生以下（混合）
優勝 増淵隼人（宇都宮市）
準優勝 楠田玲奈（宇都宮市）



増淵 楠田

小学校6年生以下（混合）
優勝 高橋陸利（壬生小学校6年）
準優勝 長山千夏（上三川町）



長山 高橋

中学校2年生以下（混合）
優勝 増子未結（宇都宮市）
準優勝 熊谷丈琉（上三川町）



熊谷 増子

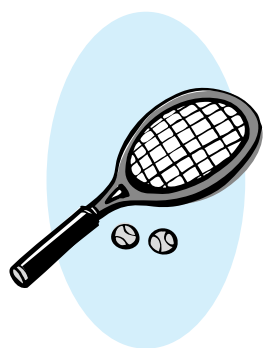
31th MIBU TENNIS 大会結果

10月12日
町総合運動場
テニスコート
参加者26名

成績

●一般男子ダブルス
優勝 高橋利通・高橋裕幸 ペア

準優勝 青木一男・新村勝己 ペア



●一般女子ダブルス
優勝 瓦井寛子・大場裕子 ペア

準優勝 糸川直美・柊木卓子 ペア

●60歳以上ダブルス
優勝 齊田晃男・野中裕二 ペア

準優勝 福原啓介・稲見英明 ペア



※写真左上段（一般男子ダブルス）
左より新村、青木、高橋（裕）、高橋（利）
左下段（一般女子ダブルス）
左より瓦井、大場、柊木、糸川
右上段（60歳以上ダブルス）
左より齊田、野中、稲見、福原

いきいき壬雷クラブスポーツ大会開催

10月9日、いきいき壬雷クラブ（薦耕一会長）主催による第37回スポーツ大会が、秋晴れの下、町総合運動場にて開催されました。

町内42単位老人クラブの会員が14チームに分かれ、各競技に延べ1,300名を超える参加があり、町最大の高齢者のスポーツ大会となりました。来賓あいさつのあと、大橋良平さん（稲葉地区）の力強い選手宣誓で競技が始まりました。

競技は、スプーンリレーや家族旅行など高齢者向けの趣向を凝らした内容となっており、おおいに盛り上がりしました。またメリーランド保育園から園児も競技に参加し、昼休みには「創作祭り太鼓」を披露。応援席からは大きな拍手と歓声が秋空に響いていました。



※いきいき壬雷クラブの加入単位クラブには、概ね60歳以上であればどなたでも入会できます。詳しくは、いきいき壬雷クラブ事務局（町社会福祉協議会事務局）☎82-7899まで

「減塩」をテーマとした和食のメニューでクッキング

昨年、「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録されました。これは、日本人のおもてなしの心、盛り付け方やその器の芸術性、箸づかいのマナー等々、文化的な深い意味が含まれています。

世界から注目されている「和食」ですが、一方で、日本人の塩分の摂り過ぎが、日本食特有のしょうゆやみそを多用した食文化であることも否めません。

以前から「減塩」を呼びかけているにもかかわらず、平均ですが、40年前から4gしか減っておらず、目標値にはまだまだ達していないのが現状です。食材の持ち味を生かした料理が日本料理の極意とも言われています。

9月27日に開催した「健康づくりのためのボディデザイン教室～栄養と食事のこと～」では、「素材のうま味を生かした和食」をテーマとして、[減塩のコツ](#)を調理実習をとおして学びました。



第68回 栃木県芸術祭「茶華道展」



華展



茶会

10月11日～12日の2日間、壬生中央公民館において、栃木県芸術祭「茶華道展」が開催され、約1000名のお客様で賑わいました。「華展」会場内は、素晴らしい花の香りに満ち溢れ、見事な生花作品の数々に多くの来場者が目を奪われている様子でした。また、2日目に行われた県内五市町の各「茶会」の席には、朝から途切れることなく参加者が訪れ、日本伝統文化の茶道を体験し、緊張した面持ちの中にも大いに楽しんでいる様子がうかがえました。

ねんりんピック栃木2014地域文化伝承館

10月4日・5日の2日間、地域文化伝承館が県庁及び県議会議事堂において、ねんりんピック栃木2014の一環として開催されました。地域文化伝承館とは、高齢者が長年培ってきた豊かな経験・知識・技術を生かし取り組んでいる様々な地域文化、生活文化の実演・展示や地域に伝わる民俗芸能・郷土芸能を紹介・発表することで、各世代間の交流を図り、高齢者の組織や活動への理解を高めることを目標として開催されました。

県内の各市町がそれぞれ地域に関係の深い文化や芸能を紹介・発表するなか、壬生町は、いきいき壬雷クラブによるふくべ細工の紹介と藤井かんぴょう音頭保存会によるかんぴょう音頭を披露しました。2日間で県内外から約1万人もの来場者が訪れ、会場は大いに賑わいました。





秋の交通安全運動町民総ぐるみ運動を実施

秋の交通安全運動が9月21日から30日までの10日間にわたり行われ、「夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止」「全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」「飲酒運転の根絶」「子どもや高齢者に優しい3S（スリーエス）運動の推進」を重点項目として街頭広報や啓発活動を行い、交通ルールの遵守と正しい交通マナーを促しました。



みぶハイウェーパークで広報活動



10月11日（土）みぶハイウェーパークにて、壬生町交通安全母の会（大垣光枝会長）が広報活動を行いました。

町内だけでなく町外の交通安全も願い、交通安全広報チラシや広報品を配布しました。当日は、みらい館のイベント開催中であったことから、多くの来場者があり会員の皆さんは、ひとり一人に交通安全を呼びかけていました。

地域安全運動で街頭啓発活動を実施

全国地域安全運動に合わせ町内4地区防犯組合（壬生地区・稲葉地区・南犬飼地区・睦地区）では、増加傾向にある「自転車盗」や「特殊詐欺」「防引き」等の身近な犯罪を防止するため、町内のスーパーマーケット等において、チラシや広報品を配布し、地域の犯罪防止を呼び掛けました。



全建総連によるペンキ塗り（藤井小）



10月19日（日）全建総連栃木県建設労働組合壬生支部の皆さん12名が、ボランティア活動のために藤井小学校に集まりました。

これは、子ども達のために地域の建築職人さんの集まりである同団体が企画したもので、町内の小中学校を対象に実施しているものです。

今年度は、藤井小学校の渡り廊下沿いの劣化した塗装部分を、丁寧に研磨・再塗装していただきました。体育館やランチルームに向かうために渡り廊下を使用する児童達は、きれいになった塗装部分を毎日うれしそうに眺めています。



まちのわだい

壬生町戦没者並びに消防殉職者合同慰霊祭

10月18日、東雲公園の北側にある慰霊碑前にて「壬生町戦没者並びに消防殉職者合同慰霊祭」が執り行われました。

この慰霊碑には、戊辰の役以来先の大戦に至るまでの戦没者の方々、そして消防活動にて殉職されました方々のお名前が刻まれています。

式典は、雲一つない青空の下、たくさんの遺族の方々が参列する中、黙禱に始まり、町長の式辞、遺族会長・消防団長など来賓の方の追悼の辞の後、参列者全員による献花が行われました。



更生保護女性連盟県央第一ブロック大会開催



10月16日に壬生中央公民館にて、栃木県更生保護女性連盟県央第一ブロック研修会が行われました。更生保護女性会は、女性の立場から地域における犯罪予防の活動や子供たちの健全育成のための子育て支援活動などを行うボランティア団体です。この研修は4年に一度4市町で順番に行われています。研修では、宇都宮保護観察所長の神村修氏の講話の後、宇都宮市、下野市、上三川町、壬生町の4ブロックの活動報告があり、メリーランド保育園の和太鼓や会員による民謡等が催され、和やかな雰囲気のもと閉幕されました。

世代を超えたふれあいの場として「敬老の集い」を開催！

至宝町南自治会（会長：鈴木武夫）では、町のいきいきふれあい応援事業を活用し、9月14日（日）に、70歳以上の方々53名を迎え「敬老の集い」を開催しました。

今年は、自治会の方針でもある世代を超えた「心のふれあい」を目的に、壬生東小学校コーラス部児童の協力のもと、高齢者のみなさんは、昔懐かしい「唱歌」などを一緒に歌ったり、手品や楽器演奏などで楽しい一時を過ごしました。





竜巻災害復旧の支援で壬生町建設業協同組合に感謝状を贈呈

8月10日に発生した竜巻災害での協力活動に対して、9月24日、『壬生町建設業協同組合』（佐藤 豊忠理事長）に感謝状を贈呈しました。多くの方々の御協力をいただき復旧作業が進められたなかで、特にがれきの処理に関し『壬生町建設業協同組合』から無償で車両の提供や人的支援をいただき、短期間で収集・運搬などの処理をすることができたことに対し、町として感謝の意を表しお贈りしたものです。



壬生町小学生駅伝チーム頑張ってます！！

毎年1月に「栃木県郡市町対抗駅伝競走大会」と同時開催される「栃木県小学生駅伝競走大会」の出場に向けて、壬生町小学生駅伝チームの練習が本年度も開始されました(本年度は昨年度に引き続き2回目の大会参加となります)。

町内の各小学校から集まった5・6年生の男女約40名の児童が、監督・コーチ陣の熱心な指導のもと、一生懸命汗を流しています。

将来、郡市町対抗駅伝大会においても活躍できる選手が誕生することを願います。第7回栃木県小学生駅伝競走大会は1月25日(日)に栃本市総合運動公園内特設コースで開催されます。

皆様の応援をどうぞよろしくお願いいたします。

地域安全グラウンドゴルフ大会開催

10月15日、壬生町総合運動場南グラウンドにおいて、壬生町防犯組合連絡協議会（森島淳会長）主催による地域安全グラウンドゴルフ大会が開催されました。これは、高齢者を対象とした犯罪が増加している中、地域安全・防犯意識の高揚を目的に開催したもので、壬生町グラウンドゴルフ協会の協力のもと、115名が参加し熱戦を繰り広げていました。

休憩時間を利用して、栃木警察署 赤上生活安全課長から身近な犯罪防止や振り込め詐欺などの被害に遭わないための心構えについて講話を受けたりと、地域の安全安心へ関心を高めました。



第69回国民体育大会 出場監督・選手壮行会



(左から、鈴木翔太選手、荒川俊汰選手(代理)、小口英之監督)

第69回国民体育大会に出場する監督・選手壮行会を開催し、壬生町体育協会（松本幸三会長）と壬生町長（小菅一弥町長）から栄えある出場を讃える激励とともに、健闘を祈念しました。監督・選手の方々の今後のさらなる活躍が期待されます。

・大会期間 平成26年10月12日～10月22日 長崎県（敬称略・県選手団名簿順）

氏 名	種目・競技会会期・会場地	種 別
すずき 翔太	バスケットボール・選手（10月18日～10月22日） 三菱重工総合体育館・長崎県立総合体育館・長崎市民体育館	少年男子 宇都宮工業高校 2年
あらがわ 俊汰	レスリング・選手（10月13日～10月16日）島原復興アリーナ	少年男子 足利工業大学附属高校 3年
こぐち ひでゆき 小口 英之	自転車・監督（10月13日～10月17日）トラック：佐世保競輪場 ロード：壱岐市特設ロードレースコース	成年男子 若松原中教諭
つるみ としあつ 鶴見 利光	馬術・監督（10月17日～10月21日）雲仙市特設馬術競技場	成年男子 壬生乗馬クラブ
たがや あゆみ 多賀谷 歩	剣道・選手（10月19日～10月21日）五島市中央公園市民体育館	少年男子 小山高校 3年



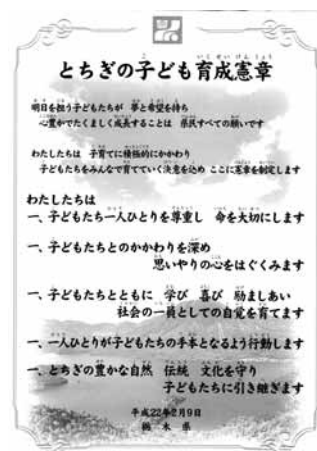
まちのわだい

～大人の責任と役割～ 憲章の理念を実践しましょう！

栃木県では、“子どもを育てための大人の基本理念や行動指針”として、平成22年2月に「とちぎの子ども育成憲章」を制定しました。

この憲章は、県民が力を合わせて子どもたちを健全に育てていくために、大人が具体的に取り組む姿勢を分かりやすく示しています。

是非、子どもたちが夢や希望を持ち心豊かであくましく成長するために、私たち大人が積極的に子どもたちと関わっていきましょう。



人権擁護委員に齊藤和子氏、中村恵子氏が再委嘱



齊藤和子氏と中村恵子氏が、平成26年10月1日付けで法務大臣から人権擁護委員に再委嘱されました。

人権擁護委員は、地域の皆さんの人権に関する悩みごとなどの相談に応じるほか、街頭啓発活動や小・中学生を対象とした人権講話・ビデオフォーラムなどを通して、人権の大切さについての理解を深めてもらうなど、人権意識の高揚にも務めています。

「第1回壬生町中小企業の経営者ミーティング」を開催

10月10日（金）町役場において、「第1回壬生町中小企業の経営者ミーティング」を開催し、町内に立地する製造業企業の12人の経営者と町長による活発な意見交換が行われました。

雇用や工場用地の確保など、経営上の課題や経営者が日頃感じていることについて話し合われたほか、おもちゃ製造で発展してきた壬生の製造業の高い技術力を発信することなど、町の活性化に向けた提案がされました。

町長からは、今後も企業の方との交流の場を設け、企業の声を活気あるまちづくりに生かしていきたいとの話がありました。



地元と共に まごころサービス 鈴木自動車販売グループ

ロータスクラブ壬生車検センター

鈴木自動車販売株式会社

壬生町安塚1170-6

TEL: (86)0798

FAX: (86)0903

新車・中古車販売 くるま市店

スズキ販売壬生

壬生町安塚793-18

TEL: (86)3188

FAX: (86)3172

オートサービス安塚給油所

スタンドスズキ

壬生町安塚874-3

TEL: (86)0386

FAX: (86)0368

サイクル&モーターショップ

鈴木輪業

壬生町安塚1935

TEL: (86)0012

FAX: (86)1356

フリーダイヤル 0120-12-0798

30周年記念でオペラに挑戦！

9月7日（日）壬生中央公民館大ホールにおきまして、壬生少年少女合唱団の30周年記念チャリティーコンサートが開催されました。

今回は、初めてオペラに挑戦し、保護者手作りの大道具セットを背景に、「ヘンゼルとグレーテル」のハイライトを熱演し、約350人の観客の皆さんに感動を届けました。

会場入り口におかれまして募金箱には、来場された大勢の方々の心温まるご協力をいただき79,188円の募金が集まりました。壬生町（竜巻災害義援金）、広島市（豪雨災害義援金）、（財）ニセフ協会へ寄附されました。



毎週土曜日から9時から10時まで、歴史民俗資料館で、この『壬生論語古義抄』を使った素読の教室《壬生論語古義塾》を開催しています。自由参加ですので、ぜひご参加ください。参加費は無料ですが、初回のみ200円の資料代がかかります。

【みづまるから一言】
自分が得るかどうかを基準に行動していると、「面倒なことをすぐ人に押しつける」とか「自分のことしか考えない」など、周囲から見抜かれていることが多いね。
では、「自分ばかりこんな仕事があつて不公平だ。」と怒っている人、嘆くことなかれ。唐突ですが、ハタラキアリは、全部のありがたせと働いていると思いきや、実は働いているのは2割のアリ。やっぱり仕事は能力のある人の所に集中するようにできているのではないかな。
「自分の利益によらずに行動できる人」のいる集団が強いチームワークを生み出し、大きな成果をもたらすもの。そんなあなたを周囲はよく見抜き、あなたを評価しています。



利益を基準として行動すると、恨まれることが多い。

（里仁第四）

子の曰く、利に放りて行えば怨み多し。

介します。

新しい論語素読テキスト『壬生論語古義抄』から、章句を紹介します。

今月の「壬生論語古義抄」(八)

こんにちは！壬生町教育委員会です！

第55回

教育・文化・スポーツの振興に取り組む

大切なペットが、もしもの時は
ペットの火葬



戸別訪問
個別火葬
返骨・埋葬

Mホームサポート

ペットメモリアルサービス

栃木市

「にゃんわん会」会員募集中 入会無料 特典有

事前登録時に限定300 キーホルダー1つ提供します
利用時に出張料減額、火葬費5%OFF、分骨カプセル1ヶ

《電話受付》 7時～22時 年 中 無 休 **0120-021-594**

URL <http://www.m-homesupport.com>

《お任せください》

皆様の暮らしを守ります

○壬生町水道施設維持管理業務
○壬生町清掃センター焼却設備運転管理業務

○日本下水道協会賛助会員 ○日本下水道処理施設管理業協会会員 ○東京商工会議所会員

セントラル工業株式会社

昭和49年2月設立 維持管理業全般 35年の実績

本社：〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南2-1-8 恵比須OTビル6階
栃木営業所：〒323-0807 栃木県小山市城東1-1-32-102

みんなの 広場

わが家の アイドル



今回は1月生まれのアイドルを募集します。写真は掲載後にお返しいたします。

【締 切】12月17日

【必要事項】氏名(ふりがな)(複数のアイドルが写っている場合はそれぞれ分かるように明記してください)、保護者名、生年月日、住所、電話番号

【申込方法】必要事項を明記の上、役場総合政策課または稲葉・南犬飼出張所・子育て支援センターまで

【申 込 先】町総務部総合政策課 情報広報係
〒321-0292 壬生町通町12-22
Eメールアドレス
info@town.mibu.tochigi.jp



ましやま 増山ひなたちゃん
(H25.11.11生)(下表町)



おかむら ゆめ か 岡村夢花ちゃん
(H23.11.25生)(栄町)



くまくら あい り 熊倉愛莉ちゃん
(H22.11.20生)(六美町南部)



ごとうみお 後藤零ちゃん(H23.11.30生)

しゅん 洵ちゃん(H26.4.15生)
(三好町)



おくざわえい た 奥澤栄太ちゃん(H20.11.17生)

りゅうき 隆喜ちゃん(H22.12.5生)
(至宝町北)

歴史民俗資料館だより

埋蔵文化財発掘調査シリーズ

『みぶ古墳群』発掘調査の始まり

「造り出し部の消えた「車塚古墳」」

今回も前回に続き、車塚古墳の本年度の発掘調査の成果についてお知らせいたします。

前回は、車塚古墳の墳丘の周りに置かれた、須恵器と称される甕について報告しました。

今回は、大きく開口した横穴式石室の前面に広がる「造り出し部」(測量図のAミかけの部分)について、新たに判ったことを報告します。

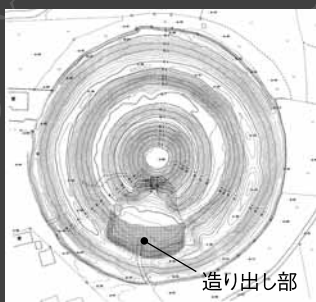
車塚古墳の石室前面の「造り出し部」については、東京をはじめとする中央の研究者たちは、車塚古墳と同時期に造られた、現在の下野市にあった「下石橋愛宕塚古墳」にも、同様の「造り出し部」が確認されていることから、古代下毛野国における終末期古墳の特徴の一つがこの「造り出し部」であると考えていました。これに反し、栃木県内の研究者は車塚古墳の「造り出し部」は、石室が盗掘を受けた際の土砂を南側に崩してできたものと推測していました。

本年度は、この「造り出し部」が古墳が造られた当時のものか、

それとも後世の破壊により土が流れてできたものか、その結論を出すために試掘溝を設定し、学生たちにより発掘調査が行われました。

その結果、「造り出し部」とされた箇所からは、やわらかい土と共に江戸時代前の土器片などが出土し、古墳の一部ではないことが判明しました。

これにより、車塚古墳同様に直径が80mを上回り、豪華な金銅製の馬具が出土している「下石橋愛宕塚古墳」の墳丘についても再検討が必要となってきました。



造り出し部

車塚古墳

問合せ先

歴史民俗資料館

☎02882-8218544

壬生町の皆さまが主役です! コミュニティチャンネル!



「コミュニティチャンネル」は地域のイベントやお店情報、自治体からのお知らせ、防災等の緊急情報など、地域に密着した話題をお届けするチャンネルです。



地上デジタル 111ch

リモコンボタンは 11

★CC9 ニュース 今後の取材・放送予定★

内 容	開催日	放送日
壬生町ゆうがおマラソン大会(壬生総合運動公園)	12/7(日)	12/8(月)
子どもがつくる「みぶタウン」(壬生町保健福祉センター)	12/21(日)	12/23(火)

取材・放送の予定は予告なく変更の場合があります。予めご了承ください。

みなさんの地域の身近な話題をお寄せください! CC9 ニュース 月曜～金曜 夕方6時更新

栃木ケーブルテレビ ケーブルテレビの地域情報をご覧になりたい方は下記までご連絡ください
☎0120-25-1319 代表 ☎0120-25-1319 FAX ☎0120-25-1319



平成26年度
「みぶまち・獨協健康大学」閉校

昨年、町内の「健康リーダー」を育成することを目的に始まった、町と獨協医大が連携し設立した「みぶまち・獨協健康大学」の閉校式が9月25日、同大学で行われました。

今年は、全8単位のうち5単位以上を取得した37人に修了証が渡されました。学長の小菅一弥町長は、「修了おめでとうございます。今後は、町の健康推進に協力をお願いします。」と述べられました。修了生の、今後の町の健康リーダーとしての活躍が期待されます。

寄 附

・まちづくりの推進に役だてて欲しいと寄附がありました。

協栄産業株式会社様……………50万円



工作「鳴龍」



壬生小5年
おおかわかつみ
大川 勝望

私の作品

表紙の写真

快晴の中行われた、10月26日の第28回壬生町健康ふくしまつりの様子です。イベントステージ前で、たくさんのお客さんに見守られながら親子で風船飛ばしを行いました。



● 固定資産税	(3期)
● 国民健康保険税	(6期)
● 介護保険料	(6期)
● 後期高齢者医療保険料	(6期)
納期限	12月25日

12月の納税等



壬生小4年
しみずはるか
清水 遥加



工作「わたしのかわいいふくろう」